

4 文法1 言葉の単位

組	
番号	
氏名	

- 1 次の「言葉の単位」を、大きい順番に並べましょう。
「文・文章・文節・単語・段落」

文章 ・ 段落 ・ 文 ・ 文節 ・ 単語

- 2 調「言葉の単位」は教科書の文法の解説を見直すこと。
次の各文を(例)にならって文節ごとに一で区切りましょう。
さらに、(例)にならって単語のひとつひとつに――線を引きましょう。

(例) 母は――いつも――朝食を――作る。

- ① 大きな月が――ぼっかり――浮かぶ。
② イソギンチャクの――触手しよくしゆには――鋭いすどど――針が――あるのだ。
③ ヤドカリの――生態を――調べて――発表させる。
④ じっくり――考えないと――解けない――問題だ。
⑤ 西の――空が――赤いので――明日は――晴れそうだ。

- 3 次の各文から主語と述語を一文節で書き出さない。

① 大きな月がぼっかり浮かぶ。
主語「月が」 述語「浮かぶ」

② しだいに暖かくなり、やがて泉ヶ岳の雪も消えた。
主語「雪も」 述語「消えた」

- 4 注「消えた」のは「何か」を考えよう。
次の各文から、修飾語になっている文節を全部書き出さない。

調「修飾語」については教科書の文法の解説を見直すこと。

① 大きな月がぼっかり浮かぶ。
「大きな ・ ぼっかり」

② おそらく明日から太平洋側の海が荒れるだろう。
「おそらく ・ 明日から ・ 太平洋側の」